

(順不同、敬称略)

部門	賞名	受賞句	所在地	受賞者
高齢者部門	選者特選賞 (10句)	蓮の実どこへ飛んでも核家族	東京都	石口 榮
		蛇衣を脱ぐ新しき今日のため	横浜市	加藤 房子
		母さんはもはや球体日向ぼこ	鳥取県	定久 静子
		春の夜の一つは老々介護の灯	北九州市	安部 泰子
		草笛も鳴らず生死もままならず	大阪府	秋山 具輝
		大山に雲湧き春の立ちにけり	神奈川県	富山 ゆたか
		生き生きと白波走る端午かな	長崎県	奥村 京子
		母の日や母となる子の手を握り	浜松市	西澤 寿江
		大山の日を賜わりて青田守る	鳥取県	川本 経子
		いつまでも砂丘見てゐる帰省の子	群馬県	今井 妙
	正賞 (10句)	この畑に父の生涯梨の花	島根県	吉浦 増
		潮の来る度に尻上ぐ磯遊び	長崎県	高永 久子
		紫の被爆者手帳生身魂	長崎県	牛飼 瑞栄
		風紋は砂丘の鼓動夏の雲	愛媛県	山西 哲子
		大山の裾野を借りる三尺寝	島根県	渡部 美知子
		土喰うて虫を喰はせて親燕	長崎県	西 史紀
		陽炎の砂丘に在った非常口	東京都	栗原 かつ代
		あたたかや鳩の来てゐる滑り台	広島県	奥田 積
		冬銀河さみしきコインランドリー	山口県	河本 宏子
		風紋にのこる夕日や鳥帰る	浜松市	宮澤 秀子
	准賞 (10句)	ハローにはハローと応へ若葉風	岐阜県	田口 千恵子
		鱒刺や砂丘は白き音の中	宮崎県	山田 裕章
		水郷の水車の音の朧かな	鳥取県	大西 一義
		咬まれつつ心通はせ鶉を馴らす	名古屋市	山口 こひな
		雲の背にまた夏雲の立ち上がる	北海道	小林 さつき
		風紋は風の言の葉夏来る	大阪府	奥野 宣
		アーケード撤去の空に春日傘	鳥取県	倉益 敬
		銀漢の流れて海の動きだす	長崎県	入口 弘徳
		駱駝駱駝駱駝色なき風の中	山梨県	渡邊 章子
		雑踏を魚のごとく夏来たる	静岡県	後藤 むつ子
	入選 (100句)	風紋は風の言の葉夏来る	大阪府	奥野 宣
		やはらかき朝日の中の袋角	京都市	岡村 美江
		何語る入道雲と鬼瓦	鳥取県	尾田 美智子
		青空に白きカーテンかけ朝寝	兵庫県	辻田 智子
		風紋は砂丘の鼓動夏の雲	愛媛県	山西 哲子
		雛流す母の一生見届けて	和歌山県	博堂
		若葉風光にもある重さかな	三重県	海野 さちこ
		大空に穴あく所半仙戯	広島県	奥田 積

太陽の欠片を抱へ銀杏散る	愛媛県	仲村 満里
喉元を過ぎて明日へ寒の水	兵庫県	喜多 より子
水郷の水車の音の朧かな	鳥取県	大西 一義
日記書く手よりはじまる湯ざめかな	石川県	ていこ
小窓まで春満月に濡れてをり	福岡県	白石 照子
太閤の治水のはなし新茶汲む	滋賀県	主藤 充子
印を結ふ仏うす眼や花卯木	大阪府	柚子
白無垢のゆつくり潜る大茅の輪	島根県	かみかわよしえ
地へ帰す莖立ちを鋤く夕辺かな	茨城県	山口 富雄
風渡るあたり最も新樹光	神戸市	仲井 慶次
大山の裾野を借りる三尺寝	島根県	渡部 美知子
花を出て花より赤き天道虫	山形県	小島 緑泉
冬銀河さみしきコインランドリー	山口県	河本 宏子
アーケード撤去の空に春日傘	鳥取県	倉益 敬
老い深くあり白子干食みこぼす	茨城県	永山 憲子
秋の太陽使ひ切つたる鎌の幅	石川県	山根 美和子
煙吐く汽車の来さうな麦の秋	大阪府	上紺屋 葉月
潮の来る度に尻上ぐ磯遊び	長崎県	高永 久子
土喰うて虫を喰はせて親燕	長崎県	西 史紀
花吹雪浴びて介護の手を離す	岐阜県	三輪 洋二
海拔の表示あまたや雪の嵩	秋田県	工藤 進
ぼうたんや屈まる母と反らす父	福島県	有馬 洋子
雲の背にまた夏雲の立ち上がる	北海道	小林 さつき
駱駝駱駝駱駝色なき風の中	山梨県	渡邊 章子
予報士の棒の先より梅雨の入	高知県	徳永 逸夫
紫の被爆者手帳生身魂	長崎県	牛飼 瑞栄
この畑に父の生涯梨の花	島根県	吉浦 増
生臭き蛇口の水や敗戦忌	香川県	岡 汀子
一輪は少し小さく二輪草	札幌市	山岸 ひろ美
菖蒲園杖より低き母連れて	愛知県	中西 定子
かげろふを乗せて駱駝の瘤二つ	山口県	尾辻 のぶほ
揚羽蝶舞ひ込む野外オペラかな	名古屋市	稲垣 妙子
銀漢の流れて海の動きだす	長崎県	入口 弘徳
春深し秘仏といふは御伏目	堺市	塩見 成子
更衣元気の透けてゐる腕	山口県	永田 芳子
風鈴屋音色寝かせて仕舞けり	広島市	星加 鷹彦
砂丘にも峠ありけり雲の峰	静岡県	小澤 円梨
新涼や背すじ伸ばして踏むペダル	鳥取県	田村 鈴代
秋晴れの海を押し出す大砂丘	岡山県	蔦青
奥能登の仮設の家に燕来る	富山県	中川 泰信

沙羅の花散るを惜みて今日惜しむ	山口県	辻岡 伸子
本校へ船で着く子等風光る	福岡県	酒井 和子
咬まれつつ心通はせ鶴を馴らす	名古屋市	山口 こひな
潮の来る度に尻上ぐ磯遊び	長崎県	高永 久子
残されてひとり端居のやうにある	岩手県	名久井 武義
風鈴の鳴りたきときに鳴ればよい	三重県	川合 いつ子
麦秋や人は螺旋に齡重ね	北九州市	長尾 キヌエ
ゲゲゲ忌や星のよく飛ぶ日本海	東京都	野上 卓
思ひ出に時間取らるる更衣	福岡市	阿部 弘子
乱闘のごと騒がしき誘蛾灯	岐阜県	海神 瑠珂
砂丘にも草ありそれも実を持てり	兵庫県	広田 祝世
新社員の追ひ越す風を浴びにけり	熊本市	西村 楊子
あたたかや鳩の来てゐる滑り台	広島県	奥田 積
この畑に父の生涯梨の花	島根県	吉浦 増
蜥蜴出づローマ遺跡の石畳	浜松市	川内谷 育代
涅槃西風砂が砂とぐ大砂丘	岡山県	佐藤 史男
紫の被爆者手帳生身魂	長崎県	牛飼 瑞栄
天龍川の碧ふかみゆく落花かな	浜松市	越川 都
国引きの浜満天の翳雲	山口県	島津 教恵
四温日和泣いては肥る赤ん坊	富山県	細野 千里
たっぷりと待たせておいて添水鳴る	栃木県	斎藤 光星
薔薇は真紅に反戦のデモ過る	神奈川県	西原 仁
風紋にのこる夕日や鳥帰る	浜松市	宮澤 秀子
大山の裾野を借りる三尺寝	島根県	渡部 美知子
春暁の風紋美しき砂丘かな	茨城県	九条 道子
風紋は砂丘の鼓動夏の雲	愛媛県	山西 哲子
大山の水溢れしむ植田かな	鳥取県	圓山 淳子
辣蕪の花さやさやと砂の丘	名古屋市	山田 由美子
海光のまばゆき砂丘つばめ来る	神奈川県	富山 ゆたか
大砂丘何度も飛ばす夏帽子	三重県	平田 冬か
日傘閉づ砂丘に沈む日を惜み	大阪府	迫田 斗未子
塩らっきょ囀めば砂丘の風の音	静岡県	村上 光子
ハローにはハローと応へ若葉風	岐阜県	田口 千恵子
緑蔭にのがれ人間らしくなる	三重県	三ツ矢 龍美
雪搔の戸毎に道はありにけり	群馬県	川端 幹雄
浪費した気高き刻よ卒業す	相模原市	金本 秀夫
緑さす土偶は永遠に子を孕み	浜松市	林 浩世
グラマンに撃たれと災天の碑文	鳥取県	瀬尾 睦夫
駱駝とて美男がよろし春うらら	大阪市	上田 圭子
音立てず蛇水に入る速さかな	香川県	もりおか ともこ

昭和史を二つに分けた終戦忌	静岡県	鈴木 克佳
七夕や婆もこっそり結びをり	鳥取県	林 伸子
鱒刺や砂丘は白き音の中	宮崎県	山田 裕章
雑踏を魚のごとく夏来たる	静岡県	後藤 むつ子
長生きは英雄の証万年青の実	埼玉県	半田 かほる
陽炎の砂丘に在った非常口	東京都	栗原 かつ代
桜貝哀しき月に漂はむ	愛知県	山田 禮子
白南風の初めに触れる砂丘かな	東京都	西本 明未
土喰うて虫を喰はせて親燕	長崎県	西 史紀
いつまでも砂丘見てゐる帰省の子	群馬県	今井 妙
春嵐砂丘に鬼の影を追ふ	福井県	五十嵐道夫
万緑の表面張力海に入る	埼玉県	篠原 葦